

「上方の芸能に刺激される!!」

～あらためて知る上方芸能の表現世界に学ぶ講座～



第1期 「落語と演劇」 話芸の創造性から演劇の表現方法を考えてみる

①2014年10月21日(火) 19時～21時

「落語と演劇の脚本・演出・演技の違い」

一人で演じる落語と、複数で演じる演劇では、同じ題材でも脚本・演出が大きく違います。落語家と役者は似て非なるもの。演技においても具体的な違いがあります。その違いを体験して頂きます。

②2014年10月28日(火) 19時～21時

「落語を演劇にしてみる」

落語を芝居に書き換えるにはどこをどうずればいいのかを体験して頂きます。

③2014年11月04日(火) 19時～21時

「演劇を落語にしてみる」

戯曲を落語にするというのは、落語を芝居にするよりも難易度が高いと言われます。最終回はそれにチャレンジして頂きます。

1979年(昭和54年)3月1日桂枝雀に入門。
マイクの要らない会場で、生の三味線・拍物による落語会の慣儀に力を入れている。
また、一風変わった落語会のプロデュースも多数。(落語と音楽のコラボ企画、ネタの虫干し etc)
1984年放送作家・東照晴明が傾倒したカラードシアター・ヘテカワで演劇の初舞台。
以降、劇団リリパットアミー、劇団 MOTHER など関西小劇場等へ多数客演。2005年に落語的
手法による芝居「斬劇(はなしげき)」をスタートさせた。
吹奏楽団やフルートオーケストラと「落語版・メリーウィドウ」「落語版・ピーターと狼」などの軽
戯がある。
2013年には「吹奏楽落語・新出堂本忠臣蔵(シンディぼん・しゅうしんぐら)」を上演した。京都・
南座の名物公演となっている「歌舞伎鑑賞教室」での解説役を1993年から勤めている。持ちネタ
数も多く2012年5月下旬の時点で145あったが、突如「持ちネタ総入れ替え宣言」をし、第
2期持ちネタを量産中。
趣味は将棋(アマチュア三段)・詰将棋創作・クラリネット。

講師 / 桂九雀

演出家・俳優養成セミナー2014

演劇大学

2014年 10月 → 2015年 1月

in大阪

【会場】梅田カルチャー 4Fホール

大阪市北区茶屋町1-7 梅田カルチャービル

◆各線梅田駅より徒歩5分 ◆JR大阪駅より徒歩10分



参加費

【一般・学生・高校生】一講座 / 500円 (協会員は無料)

会場には入場券(30人)がございますので、要領子付いた方を優先します。
当日お断りしたいだけでもかまいませんが念のためご予約をお願いいたします。

お申込
お問合せ

日本演出者協会 関西ブロック事務局

e-mail kansaiblock@yahoo.co.jp

☎080-4025-2202 (関西ブロック事務局)



主催：文化庁/一般社団法人日本演出者協会 企画制作：一般社団法人日本演出者協会 関西ブロック 文化庁委託事業「平成26年度次代の文化を醸成する新進芸術家育成事業」

一般社団法人
日本演出者協会
JAPAN DIRECTORS ASSOCIATION

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 五輪花伝舎3F

TEL: 03-5909-3074 FAX: 03-5909-3075 Mobile: 090-6162-1710

E-mail: j_d_a_info@yahoo.co.jp http://www.jda.jp/

【一般社団法人 日本演出者協会】 和田豊夫、小野七海、秋葉舞海、上田智子
【関西ブロック役員】 井之上洋、今泉あさむ、飯塚正祐、安井友仁、金子純子、栗川穂之助、木崎茂雄、ナケモトマサア、松手日登美、島守辰樹、田中幸徳、船橋英平、山口文彦、保木洋佳子、堀江ひるゆき、橋本洋、森本豊夫、山崎つづみ